

令和3年度 富岡地域ケアプラザPDCAシート\_公表用 (事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

○当地域ケアプラザが担当する地区は高齢化が進み、高齢化率は市や金沢区の平均を上回っています。一人暮らしや高齢者世帯の増加も進んでおり、長年活動を続けてきた地域団体やボランティアの高齢化など他地区と同様の悩みがあります。山坂の多さも高齢者を悩ます大きな要因となっています。  
○町内会等地域団体を基礎とする活動は活発に行われており、地域のコミュニティーは確保されています。民生・児童委員などによる福祉保健活動も活発です。そこでこのような地域団体等との情報交換や地域課題を考える各種の会合を通じて人材の発掘確保・地域課題の抽出などに取り組み、必要な支援を地域ともに考えていきます。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	・障害児の親の会を開催し、情報・課題の共有を重ねネットワークの構築を行う。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	・5職種協働で、地域の人材資源把握のために「地域情報記録」を作成する。人材資源を事業や地域活動に繋げていく。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	・薬局協力による事業開催、セブンイレブン移動販売など、企業と連携し地域活動の充実を図っていく過程で地域との関わりを深めアプローチをしていく。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	・継続して地域の様々な集まりに参加し、ケアプラザを周知するとともに相談窓口をケアプラザの外にも広げていくように努める。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

・障害児の親の会は定例開催し、参加者の意見を元に事業展開し、子供の将来に備えて専門家を招き制度等の勉強会、保護者同士の情報交換会を開催しました。子供が大きくなるにつれて親が集まる機会が減ってしまうため今後も継続して行っています。  
・コロナ禍にあってもタイミングを見極めケアプラザ外での活動を積極的に実施しました(富岡薬局協力のもと駅前の待合室を会場にした「健康のたちより処(健康チェック)」と「笑みカフェ(認知症カフェ)」、富岡中学校1年生の家庭科授業への協力、家族信託の出張講座など)。これによりケアプラザの機能の周知や相談窓口を身近に感じて頂くことが出来ました。

区からのコメント

「親の会」開催を通して、若い世代・子育て世代のニーズ把握につながり、またケアプラザ周知にもつながっています。この取組が、今年度の支え合い連絡会にもつながり、継続性のある事業展開をしていただいています。  
移動販売にも継続して関わっていただいていることで、これまであまり接点のなかった地域との交流や、地域アセスメントにもつながっています。  
富岡中学校の家庭科授業に民生・児童委員をつなぐ、薬局の協力により健康チェックや認知症カフェの会場を確保するなど、地域住民のみならず、薬局や学校などとの連携を丁寧に行い、地域ネットワークの構築が図られています。  
引き続き、様々な世代へのケアプラザ周知、アプローチや人と人をつなぐ連携、事業展開に期待しています。